

6

交流拡大による活力創出プロジェクト

概要

イベントの開催や交流拠点の整備等を通じて交流を拡大し、県民の活力を創出・発信することにより、山口ならではの豊かさの創出につなげる。

また、人やモノの流れの拡大を支えるため、空港、新幹線停車駅等を起点とする交通ネットワークの機能強化や、高速道路・国道・県道等の道路網の整備・充実を推進するとともに、海外自治体との交流やグローバル化に対応した多文化共生による地域づくりを進める

重点施策

- 21 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信
- 22 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化
- 23 広域的な交通インフラの整備
- 24 国際交流の推進

(1) 成果指標の状況

成果指標	進捗状況	指標数	主な指標
	★★★★★(目標を達成)		
	★★★★ (計画を上回る)	2	山口きらら博記念公園年間利用者数 等
	★★★ (ほぼ計画どおり)	2	山口宇部空港の国際便(チャーター便を含む)の年間利用者数 等
	★★ (計画を下回る)		
	★ (計画から大幅に遅れ)		

(2) 県民実感に係る調査結果

調査区分	調査項目	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
県民実感度調査 (%)	新幹線や航空便の利便性や観光地等へのアクセスなど、交通ネットワークの充実が図られていると思いますか。	27.2	28.5	42.8
	山口きらら博記念公園における、イベントなどを通じた交流拡大の取組が進んでいると思いますか。	33.3	37.4	27.6

(3) 主な取組と成果

主な取組と成果

◆ 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信

- 山口きらら博記念公園の交流拠点化に向けて「山口きらら博記念公園みらいビジョン」を策定(令和6年3月)。

- 山口きらら博記念公園を県内に元気と活力を創出する拠点としていくため、大規模イベント等を実施。

山口きらら博記念公園年間利用者数 29.6万人(R4年度) → 100.3万人(R5年度)

◆ 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化

- 県内2空港(山口宇部空港、岩国錦帯橋空港)は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や、航空会社や関係団体等と連携した利用促進キャンペーンやPR等に取り組んだことにより、3年連続で国内便の年間の利用者数が増加。

山口宇部空港の年間利用者数 68.9万人(R4年度) → 85.7万人(R5年度)

岩国錦帯橋空港の年間利用者数 36.2万人(R4年度) → 47.4万人(R5年度)

◆ 広域的な交通インフラ(産業や生活の基盤)の整備

- 交流を支える道路網等の整備を図るため、**幹線道路等の整備を着実に推進。**

国道・県道の整備完了延長: 17.3km(R4~R5年度) → 目標: 50km(R4~R8年度)

◆ 国際交流の推進

- アメリカ・ハワイ州やスペイン・ナバラ州などとの友好協定等に基づく国際交流事業を実施したほか、新たに台湾・台南市と締結した覚書に基づき観光・物産、経済等の分野別交流を推進。また、第6回在外山口県人会世界大会の開催、創立95周年を迎えたブラジル及びペルーの在外県人会の記念行事への参加など、在外県人会との交流を推進。
- 県と県内の市町や関係機関等が連携し、中・長期的な視点に立ち、各種施策を総合的かつ計画的に進めていくため、「山口県多文化共生推進指針」を策定するとともに、当該指針に基づき、外国人住民等からの相談に多言語で対応する「やまぐち外国人総合相談センター」の運営や、オンライン日本語教室の開設、各種講座の開催など、**多文化共生による地域づくりに向けた取組**を推進。

多文化共生の推進が大変重要だと思う県民の割合 40.4% (R4 年度)
→ **45.8% (R5 年度)**

(4) 総評

総
評

山口きらら博記念公園や県内2空港の利用者は順調に推移しているが、山口ならではの豊かさのさらなる創出につなげるため、山口きらら博記念公園の整備や交通ネットワークの機能強化、国際交流の推進などによる一層の交流拡大が求められる。

(5) 課題と今後の展開方向

課
題
と
今
後
の
展
開
方
向

◆ 山口きらら博記念公園を拠点とした県民の活力の創出・発信

- 「山口きらら博記念公園みらいビジョン」に基づき、交流・集客拠点としての整備を進めるとともに、県民活動やスポーツ・文化をはじめとする様々な分野のイベントの開催や大規模イベントの誘致を行っていく必要がある。

◆ 交流を活発化する交通ネットワークの機能強化

- 県内2空港の国内便の利用者数は回復基調にあるものの、過去最高を達成した平成30年度（山口宇部空港：100万人、岩国錦帯橋空港：52万人）には及んでおらず、引き続き、航空会社や関係団体等と連携した継続的な利用促進PR等が必要である。
- 旺盛なインバウンド需要を直接本県に取り込むため、山口宇部空港国際便の更なる運航を目指し、エアポートセールスなど国際線誘致の取組を進める必要がある。

◆ 広域的な交通インフラ（産業や生活の基盤）の整備

- 観光旅行者の利便性、快適性、回遊性等を向上させるための観光ルートの形成や、観光地への交通アクセスを強化する必要がある。

◆ 国際交流の推進

- 国際交流の活発化に向けて、海外自治体との友好協定等に基づく取組を進めていくほか、外国人との共生社会の実現に向けた国の取組も踏まえ、本県における多文化共生による地域づくりについて、市町や関係機関等と連携しながら着実に進めていく必要がある。

(参考) 令和6年度の主な新規・拡充取組

拡 山口きらら博記念公園交流拠点化事業

子どもから大人まで幅広い世代が集い、伸び伸びと活動する中で山口の豊かさや住みよさを実感できる「交流拠点」、県外の人に山口の魅力を感じ、訪れてもらう「集客拠点」とし、元気と活力を創出する拠点として公園を再整備するとともに公園の利用を促進

新 山口きらら博記念公園イベント誘致推進事業

山口きらら博記念公園のポテンシャルを活かした多様な大規模イベントの誘致により、本県ならではの「にぎわい」の創出を図る

新 2050年の森活用促進事業

多くの県民が集い、交流するとともに、県外からの来訪者も受け入れられる場として2050年の森の活用を促進するため、遊びながら学べる森林空間を創出

新 観光二次交通充実事業

新たな広域観光周遊バスの運行に向けた実証運行の実施や、稼働中の MaaS サービスとの連携強化などにより、本県の観光二次交通の充実を図る

新 在外山口県人会活動促進事業

在外山口県人会の若者を対象とした交流イベントの開催や、県人会同士が情報共有できるサイトを整備することにより、若者の県人会活動への参画促進及び母県意識の醸成につなげ、県人会活動の更なる活性化を推進

拡 多文化共生総合推進強化事業

市町や関係機関等と連携し、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生」に向けた地域づくりを推進

拡 公共事業

空港や新幹線駅等の広域交通拠点と観光地、観光地相互の移動時間の短縮や周遊ルートの形成に資する幹線道路の整備等を推進し、人やモノの流れの拡大を支援